

第5班

東アジア開港場（租界・居留地）における日本人の諸活動と産業

(1) 共同研究員名

研究代表者：孫安石

共同研究者：内田青蔵 村井寛志 彭国躍 菊池敏夫 須崎文代

客員研究員：大里浩秋

研究協力者：富井正憲 栗原純 田島奈都子 齋藤多喜夫 中村みどり

(2) 研究目的

19世紀末から20世紀前半に至るまでの東アジア開港場（租界・居留地）には、欧米諸国と日本の領事館、ホテル、石油会社、学校施設、競馬場、百貨店、紡織会社、病院などの各種施設がおかれ、各国はその勢力の拡大を目指し、衝突と協力を繰り返していた。今回の第4期の研究は、従来の先行研究が蓄積してきた東アジア開港場（租界・居留地）に関連する制度史研究を基礎にしながら、これら各種施設の相互関係を産業ネットワークという視点から分析することにした。その資料としては、各国政府と租界の行政機関が残している大量の行政文書（日本外務省外交史料館、上海市檔案館、台湾中央研究院）や各種施設の建築に関連する図面（上海市建設檔案館）、各施設の年次報告（市政報告、工部局年次報告）の他にこれらの施設を文明開化の象徴として宣伝した各種の新聞（North China Herald、申報）、雑誌（Far Eastern Review、『支那事变画報』、『良友』、『写真週報』）、絵葉書（神奈川大学非文字資料研究センター所蔵の近藤恒弘コレクション）、写真集などに含まれる大量の非文字関連資料を発掘、活用する。

(3) 活動経過

◎ 2017年度

(1) 2017年4月21日 研究会を開催（1号館301会議室）

【報告】

- ・「白船の世界航海と横浜・東京訪問」（The Great White Fleet and Its Visit Around the World to Yokohama and Tokyo in 1908）Donald Rupnow（絵葉書収集家）
- ・「夢の大地への道案内—絵葉書が語る満洲の実像と虚像」劉建輝（国際日本文化研究所・副所長）
- ・2017年度・活動計画

【報告】

内田青蔵（神奈川大学）、大里浩秋（非文字資料研究センター客員研究員）、菊池敏夫（神奈川大学）、

齋藤多喜夫（横浜外国人居留地研究会）、栗原純（東京女子大学）

（2）2017年5月27日 公開研究会「いまなぜ上海研究か？」を開催（1号館804会議室）

【報告】

1 「近代上海の公園と都市への展開」熊月之（上海社会科学院、歴史研究所）

2 「上海と港湾の研究について」戴鞍鋼（復旦大学）

3 「上海フランス租界の日本建築について」陳祖恩（東華大学）

【討論】熊谷謙介（神奈川大学）、菊池敏夫（神奈川大学）、石川照子（大妻女子大学）

（3）2017年6月29日 研究会を開催（1号館804会議室）

【報告】

『『幕末・明治の横浜 西洋文化事始め』の刊行について』齋藤多喜夫（横浜外国人居留地研究会会長）

【討論】内田青蔵（神奈川大学）、大里浩秋（非文字資料研究センター客員研究員）、菊池敏夫（神奈川大学）、栗原純（非文字資料研究センター研究協力者）、孫安石（神奈川大学）

（4）2017年8月5日 研究会を開催（1号館804会議室）

【報告】

1 「天津日本租界資料の収集と同郷会活動」近藤久義（天津資料収集家）

2 「漢口日本人の回想録」津久井弘光（元青森県立田名部高校教諭）

◎展示：天津日本租界関連の写真展示（同会場）

◎上映：天津関連のドキュメンタリー

【討論】大里浩秋（非文字資料研究センター客員研究員）、菊池敏夫（神奈川大学）、栗原純（非文字資料研究センター研究協力者）、齋藤多喜夫（非文字資料研究センター研究協力者）

（5）2017年9月22日 研究会を開催（1号館301会議室）

【報告】

1 「世界のアール・デコ建築の動向」吉田鋼市（横浜国立大学）

2 「上海のアール・デコ建築とヒューデックについて」内田青蔵（神奈川大学）

【討論】齋藤多喜夫（横浜外国人居留地研究会）、栗原純（非文字資料研究センター研究協力者）、須崎文代（神奈川大学）、菊池敏夫（神奈川大学）、孫安石（神奈川大学）

（6）2017年10月28日 公開研究会「上海租界と外国人社会について」を開催（3号館406号室）

主催：『良友』画報 研究会

共催：神奈川大学非文字資料研究センター・上海社会科学院歴史研究所

【報告】

1 「上海のユダヤ人研究の最新動向について」王健（上海社会科学院歴史研究所）

2 「日本軍政下の上海におけるユダヤ絶滅政策の存否をめぐって」菅野賢治（東京理科大学）

3 「上海のフランス語新聞 Le Journal de Shanghai における日・仏・中文化交流」趙怡（東京工業大学）

4 「ドイツの版画と上海の魯迅」東家友子（東京大学大学院博士後期課程）

【討論】大橋毅彦（関西学院大学）、石川照子（大妻女子大学）、熊谷謙介（神奈川大学）、菊池敏夫（神奈川大学）

- (7) 2018年1月19日 公開研究会「日・韓の華僑と近代史—仁川、横浜、神戸の華僑」を開催（1号館804号室）

【報告】

共催：神奈川大学非文字資料研究センター・仁川大学中国学術院

- 1 「韓・中修交以降の韓国華僑社会の変容（1992年～2017年）」李正熙（韓国・仁川大学中国学術院教授）
- 2 「仁川チャイナタウンの歴史と現状」金南希（韓国・仁川大学中国学術院教授）
- 3 「横浜中華街、その形成と変貌—160年の歴史を考える」伊藤泉美（横浜開港資料館）
- 4 「開港150年と神戸華僑」安井三吉（神戸華僑歴史博物館）

【コメンテーター】齋藤多喜夫（横浜外国人居留地研究会）、大里浩秋（神奈川大学）、村井寛志（神奈川大学）、内田青蔵（神奈川大学）

◎ 2018年度

- (1) 2018年4月24日 ドナルド・ラップナウ氏講演会を開催（3号館408室）

【報告】「絵葉書にみる日本と中国：1894-1945」ドナルド・ラップナウ氏（絵葉書収集家）

【討論】齋藤多喜夫（横浜外国人居留地研究会）、栗原純（非文字資料研究センター研究協力者）、大里浩秋（神奈川大学）、村井寛志（神奈川大学）、孫安石（神奈川大学）

- (2) 2018年8月7日 研究会を開催（28号館215室）

【報告】「ソウル歴史博物館と非文字資料調査の概況」富井正憲氏（韓国・漢陽大学建築学部 客員教授）

- (3) 2018年11月9-10日 公開研究会「円卓会議—中国・上海都市研究の新動向」（上海社会科学院歴史研究所と共催）を開催

【報告】

- 1 「『良友』画報の論文集刊行後の余談—スポーツとKODAK、そしてShanghai Municipal Council 英文資料について」孫安石（非文字資料研究センター研究員）
- 2 「上海文化と香港・華僑」村井寛志（非文字資料研究センター研究員）
- 3 「『良友』画報の研究—百貨店」菊池敏夫（非文字資料研究センター研究員）
- 4 「都市上海の中の創造社作家たち」中村みどり（早稲田大学商学学術院准教授）

- (4) 2018年11月30日 公開研究会「戦前青島と日本」を巡る円卓会議を開催（17号館215会議室）

【報告】

- 1 「日本占領期の青島と日本人」修斌（中国海洋大学）
- 2 「青島と中国人の文化活動」中村みどり（早稲田大学）
- 3 「青島と日本—学校と教育」山本一生（上田女子短期大学）
- 4 「青島と日本軍政署」単荷君（総合研究大学院博士課程）

【討論】大里浩秋（神奈川大学）、菊池敏夫（神奈川大学）

- (5) 2019年1月15日～2月25日 ≪文化大革命ポスター展示≫

神奈川大学横浜キャンパス図書館展示コーナー

2019年2月2日(土) 公開研究会「中国 文化大革命を振り返る—日本人はどう受け止めたのか」を開催(3号館405号室)

【上映】記録映画—文革初期の毛沢東と紅衛兵 解説:長井暁(ジャーナリスト)

【報告】

- 1 「文革に対する当初の反応—中国研究所を例として」大里浩秋(神奈川大学名誉教授)
- 2 「新島淳良編『毛沢東最高指示』について」矢吹晋(横浜市立大学名誉教授)
- 3 「半世紀を経て文化大革命とは何であったか—その歴史の再考の困難性」加々美光行(愛知大学名誉教授)
- 4 「世界革命としての文化大革命—要因・衝撃・悲劇の国際連鎖」馬場公彦(岩波書店編集局部長)

【討論】菊池敏夫(神奈川大学特任教授)

◎ 2019年度

(1) 2019年5月18日、研究会を開催(17号館216室)

【報告】

- 1 「日清戦争と蘇州日本租界の交渉について」川島真(東京大学)
- 2 「蘇州の日本租界について」大里浩秋(神奈川大学 名誉教授)
- 3 今後の予定と論文集の刊行について

【討論】斎藤多喜夫(横浜外国人居留地研究会)、田島奈都子(青梅市立美術館)、菊池敏夫(神奈川大学)、内田青蔵(神奈川大学)、孫安石(神奈川大学)、村井寛志(神奈川大学)、須崎文代(神奈川大学)

(2) 2019年10月28日、研究会を開催(20号館452室)

【報告】「非文字資料としてのポスターの活用方法『明治・大正・昭和初期 日本ポスター史大図鑑』を中心として」(田島奈都子、青梅市立美術館)

【討論】孫安石(神奈川大学)、大里浩秋(神奈川大学名誉教授)、内田青蔵(神奈川大学)、菊池敏夫(神奈川大学)

(3) 2019年12月7日、公開研究会「租界と居留地」を開催(3号館405号室)

第12回外国人居留地研究会2019全国大会 第2回横浜大会「居留地の音楽・美術・文学」

【報告】

- 1 「前近代日本の『居留地』」鶴田啓(東京大学史料編纂所教授)
- 2 「中国に置かれた租界について」大里浩秋(神奈川大学名誉教授)
- 3 「日本の開港場・開市場と居留地・雑居地」斎藤多喜夫(横浜外国人居留地研究会会長)

(4) 研究成果

1. 大里浩秋・内田青蔵・孫安石編『東アジアにおける租界研究—その成立と展開』(東方書店、2020年3月刊行)

【目次】まえがき—大里浩秋

第1部 天津租界と日本

大里浩秋・栗原純 近藤恒弘氏に天津日本租界での体験を聞く

孫安石 天津の日貨排斥運動と写真資料—非文字資料研究の手がかりとして

菊池敏夫 天津近代の商業空間と都市娯楽文化—外国租界のなかの中国民間資本と中国人

第2部 青島と日本

馬樹華・趙成国／荒井直子訳 都市ガイドブックと近代青島における空間の変遷

単荷君 第一次占領期における青島軍政署の都市開発—日本人新市街「新町」の形成を中心に

第3部 漢口と日本租界

津久井弘光 漢口と日本人居留民—概観と関連史料紹介

内田青蔵 漢口の旧日本租界地の建築について

内田青蔵 もうひとつの雑居地としての「避暑地」について—軽井沢と蘆山の成立からみた日中の避暑地文化と避暑地開発

第4部 蘇州と日本租界

川島真 蘇州日本租界開設交渉—荒川巳次・黄遵憲の六条合意（一八九六年四月）への道程

大里浩秋 旧蘇州日本租界に関すること

巖明／神谷純枝訳 蘇州の日本租界と近代都市の形成

山口建治 蘇州日本租界と片倉製糸『蘇州市第一絲廠志』抄訳

第5部 朝鮮・仁川の租界

李正熙 近代朝鮮における清国専管租界と朝鮮華僑

富井正憲 近代植民地都市—京城の景観

金龍河／孫安石訳 仁川の干拓と都市開発の歴史の変遷

2. 天津日本租界関連の資料収集（近藤久義氏寄贈）の整理と公開
3. 文化大革命関連のポスターの修復作業の完了
4. 横浜居留地研究会との共同開催によるシンポジウムと音楽コンサートの開催（2019年12月7日開催）

(5) 今後の課題と展望

第2期と第3期の共同研究6年間の集大成として大里浩秋・内田青蔵・孫安石編『東アジアにおける租界研究—その成立と展開』（東方書店、2020年3月）を刊行し、天津日本租界に関連しては、近藤久義氏の資料を寄贈していただき、公開することができた。また、文化大革命関連のポスターの修復作業がほぼ完了したが、まだ、本格的な図像分析までには入っていない。今後、文化大革命のポス

ターを活用した共同研究に取り組む必要がある。最後に横浜外国人居留地研究会との共同開催によるシンポジウムと音楽コンサートの開催という新たな試みは、研究成果の社会還元が求められることから継続して実行するようにしたい。

文責：孫安石

書籍刊行のお知らせ

この度、当センターでは、非文字資料研究叢書 3 を刊行いたしました。ご希望の方は、非文字資料研究センターまでご連絡ください。後日お届けいたします。

非文字資料研究センター
himoji-info@kanagawa-u.ac.jp
28号館 2F 内線 3526

東アジアにおける租界研究

第1部 天津租界と日本
天津租界の成立と発展をめぐって（田中幸一・大塚隆夫・藤原啓）
租界の日本化と租界の発展——天津租界の発展をめぐって（田中幸一）
天津租界の発展と租界の発展——天津租界の発展をめぐって（田中幸一）

第2部 青島と日本
青島と日本——租界の発展をめぐって（田中幸一）
青島と日本——租界の発展をめぐって（田中幸一）

第3部 漢口と日本
漢口と日本——租界の発展をめぐって（田中幸一）
漢口と日本——租界の発展をめぐって（田中幸一）

第4部 蘇州と日本
蘇州と日本——租界の発展をめぐって（田中幸一）
蘇州と日本——租界の発展をめぐって（田中幸一）

第5部 朝鮮・仁川の租界
朝鮮・仁川の租界——租界の発展をめぐって（田中幸一）
朝鮮・仁川の租界——租界の発展をめぐって（田中幸一）